元治二乙丑再刻

俳諧寄席茶屋京板

掌中手桃燈

江戸書林　鈴森堂梓

表白切字のうた

ゆ　やぞ　うよ　めり　ぬり　ぬり　ぬり

さぞ　ぬそ　ぬれ　こそ　ぬふ　ぬく　いく

いさ　いざ　しの　そも　なま　らし　らめ

らん　ゑん　せん　ぬん　いづま　いの　み

いの　ぐ　いづこ　ぢぞ　ぢな　かし　ぬし

ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ

下知 逢 咲 させて 立て 未 現立 め 晴 白 おなり

未来の 無 咲へ 白 多く 未

二字切

ある人 ハ むる 服 ん 風 も あ

三字切

いふ 春 て 何 の 雲 ぞ 量 の 中

三 服 切 三名切 尼

女 常 男 の 衣 裳 う 法 ら の 尾

大 巴

手ふ 雪 せ て 留 士 の 雪 ふる 雪 服 後

を 巴

書 く て も ゆ る く き り の と と う が し

玄 姉 切

宗 白 雪 や 像 ま と 法 法 ら ん

は 切 字 な く と 切 る と 白 ゆ り 師 代 あ く て 大 す べ う び

切 字 に な る く き る 今

ふ の ぬ 咲 う ぬ 笑 ぬ 未 る 玄 代 笑 し 未 ある な

ある ある ける ひ 新 ひ 切 切 字 に な る 法 と 玄 民

我の部

苗代のるにひろるる男汁貞雨　阿州芳雨
めぐくと本恵の呼るやうもの　米沢一鱗
ゑりれハ扇ゑ苦も異さうる　仝其山
七種ハ寒し私の義筆ハ　仝藤里
白百合濡ても臨の異さハ　仝其木
ゑりくハ富士も涼山異ハ

やの部

まとゝひや拾れハこゝ　上州フヂ岡掌乙竹
初雪やいよく濡に放すゆ　仝芦遊
人の狂言とそゝや出雲　仝湖遊
一雲流のとれやゑれとし　仝桐直
書ゐるや弁に曲ゑ神　仝孤遊
為ゑや孫ゝ烟る濡　上大塚仏珊木
糸弁や秋のゑれのゆ　八幡山船ト

ゑれとゝ思ゑる涼ゑるゑ　吏山
義ゑ蜜のゑゑにゑゑ時間　石州ツワ芦漂一
濡流ゑ見ゑ心の出ゑ流ハ　仝万国
交ハ流氏色すゑ書ゑハ　娯流
ゑとゑの関ハ来てゑる踊ゑ　五出
涼ゑも付の紙ゑの義筆ハ　巴山
魚弁の斤帆照ゑ書ゑれゑ　可邑
ゑ涼ゑ一すハゑゑ柳ゑ私　柳風

秋ハ鳥やその目ゑの欲すゑゑ　仝文竹
一八や二八ゑすゑる出すゑ　仝竹撫
蔵ゑる幕のたゑゑや橋川　吉井松且
家蓋や本町筋の小粒時間　仝古之
ゑとゑ蜜ゑ蜜ゑゑて井戸の縞　仝笠雨
ゑゑや力ゑゑせよ牛の尻　仝
秋ゑにおけゑゑゑや蓑物　阿保邑扇山
ゑゑれゑゑ接拾や波ゑ　小林邑文里

傳ふ二筋こすち柳うれ　富水改　鳥山　古くハ廿日ゆやけ一の毛　新宿　子勇

曇りのひくるゝ橋ゝ風光　巻や合うゝ素と舟流一　横壁　松雨

人の打まとうて打こ踊ゝ　掌苍　名月や尾花の底もうえ毛　小串　文哥

目振りゝ松ゝ先ゝ霧ゝ　伴水　立秋や赤くも弾の糸支度　長根　文賀

立ゝ姿の肩もかるきた紙ゝ　小泉　松童　梅ゝ素ゝ隣ゝ乗ゝ風の恵　馬庭　閏山

ゝ出ゝ世ゝ代中ゝ蔵ゝ　風車　法ゝ行寺ゝ寺ゝ鶴の声　岩井　琴一山

ゝ入ゝ入ゝ　芦角　勝ゝれ女の孫や百合り毛　仝　淵柳

晩百合ハ名と順ての姿ゝ　翠路　七夕や風と名法ゝ雑の寄　西平井　悦山

大名の見ゝも素の八日ゝ　百猿　名月や神ゝちの三紀ゝ雲ゝ小紅　仝　芦英

汐日ゝ一日波ゝ汐の　碑蓮舟　鶴く巻の梅の白しや　雲砂　倉ガノ　午雞

一紫ゝて淋一ゝ寄る柳ゝ　水巻　秋空　梅ゝ実ゝ千ゝ百ゝ紙ゝ大ゝ　仝　文篁

柳ゝ雲ゝ雪ゝ　女　錦秋　ゝ名ゝ月ゝ　イセ寄　彩柳　ゝ月ゝ　ゝ月ゝ　風の果

大名の寝具ハ菊の手枕ゝ　御遊　熱ゝ燗の後こりゝや宮の物　仝　花隣

日向灘ゝ水の揺ゝ出ゝ　泗浪　乞食の果ゝ霜ゝ枯ゝ　前ハ　池鯉鮒

ゝて今ゝ月ゝ　延山　烟ゝ一ゝ水ゝ　仝　盛賀

清流ゝ筆ゝ月ゝ　仝　市寶

[illegible] 上州七日市 釣浦
二ツ石 [illegible] 仝八幡 更歯
一釋ハ菊水あり [illegible] 仝 九皐
[illegible] 仝前ノ 杉雪
[illegible] 仝 扇風
[illegible] 仝芝 松露
[illegible] 仝イセ崎 芦洲
[illegible] 仝 専秀

傘の宮人や [illegible] 仝バイ 透竹
心より [illegible] 小幡 魯州
[illegible] 仝 芦葉
[illegible] 仝 芳州
[illegible] 仝 永州
[illegible] 仝 齋州
[illegible] 仝 東州
松虫や [illegible] 仝 羊州

[illegible] 仝渋川 田葉
[illegible] 仝イカホ 盛山
[illegible] 仝高サキ 時交
[illegible] 仝 胡統
[illegible] 仝 亭松
[illegible] 仝 好時
[illegible] 武州永竹 山螢
[illegible] 仝安戸 山色

[illegible] 仝 客應
[illegible] 仝 文子
[illegible] 長野原 芦魚
[illegible] 忍行田 斗酔
[illegible] 金方寺 芦鴨
[illegible] 永竹 山螢
[illegible] 竹木 山童
[illegible] 上総久ノリ 新石

[illegible] 八幡山 呂竹
[illegible] 好竹
[illegible] 原月
[illegible] 新宿 芦月
[illegible] 喜永改 暁山
[illegible] 蘭思
[illegible] 柳糸
[illegible] 上手邑 泉志

[illegible] 江州 近山
[illegible] 越後大タ 里風
[illegible] 石州ツワノ 素兄
[illegible] 芦洲
[illegible] 美鳥
[illegible] 上州高サキ 其國
[illegible] 秩父野上 主原
[illegible] 上郷 月峰

[illegible] 長根 一桐
[illegible] 黒熊 霍昌
[illegible] 宇貴 川龍
[illegible] 可水
[illegible] 上小塙村 山笑
[illegible] 日野印地 芦元

[illegible] 南部七ツ岡 白翁
[illegible] 千代見改 芦舟
[illegible] 中商氏 虎山
[illegible] 金ケ洞 友里
[illegible] 沾月舎 万壺
[illegible] 素石

今年の春は雪の多かりし日の揺るる　野　泰山
むせんて雪の日の揺るる　矢田　芦瞰
潮騒の遠かりしかの日の夜　十吉井　松甫
一茎清く紅葉挿りけり　仝　岸松
新樹て遠く分る蒼茫る　仝　松川
吹変に入るのうるる蒼うめ　仝　保水
階を出てうるる蒼うる　仝　初交
客姫離の川端と八百屋の夜　仝　笠雨
冬の海の波揺せて重て蒼茫　西平井　馬庭　盈
水を渡くるに花の柳の里川　岩井　淵水
いの響して岩に八百の柳の　塩川　笠雫
抜川の声の蒼の金の色の　仝　笠川
松平の夜して重て抜の　下大塚　梅里
森の上の又稀せしの影の　下ノ岡　且山
傍の花の松の上の撞事の　仝　山慰
夜の花の松の上の撞事の　仝　里鶴
冬の海の波揺せて重て蒼茫　仝　里川
水を渡くるに花の柳の里川　仝　北枝
いの響して岩に八百の柳の　仝　淵水
抜川の声の蒼の金の色の　仝　笠雫
松平の夜して重て抜の　仝　笠川
森の上の又稀せしの影の　仝　梅里
傍の花の松の上の撞事の　仝　且山
夜の花の松の上の撞事の　仝　山慰
七夕の糸に蒼の蒼の　仝　里鶴
水を渡くるに花の柳の　仝　里川
いの響して岩に八百の　仝　淵水
抜川の声の蒼の金の色の　仝　笠雫
松平の夜して重て抜の　仝　笠川
森の上の又稀せしの影の　仝　梅里
傍の花の松の上の撞事の　仝　且山
夜の花の松の上の撞事の　仝　山慰
七夕の糸に蒼の蒼の　仝　里鶴
水を渡くるに花の柳の　仝　里川
いの響して岩に八百の　仝　北枝
抜川の声の蒼の金の色の　仝　淵水
松平の夜して重て抜の　仝　笠雫
森の上の又稀せしの影の　仝　笠川
傍の花の松の上の撞事の　仝　梅里
夜の花の松の上の撞事の　仝　且山
七夕の糸に蒼の蒼の　仝　山慰
水を渡くるに花の柳の　仝　里鶴
いの響して岩に八百の　仝　里川
抜川の声の蒼の金の色の　仝　北枝
松平の夜して重て抜の　仝　淵水
森の上の又稀せしの影の　仝　笠雫
傍の花の松の上の撞事の　仝　笠川
夜の花の松の上の撞事の　仝　梅里
七夕の糸に蒼の蒼の　仝　且山
水を渡くるに花の柳の　仝　山慰
いの響して岩に八百の　仝　里鶴
抜川の声の蒼の金の色の　仝　里川
松平の夜して重て抜の　仝　北枝
森の上の又稀せしの影の　仝　淵水
傍の花の松の上の撞事の　仝　笠雫
夜の花の松の上の撞事の　仝　笠川
七夕の糸に蒼の蒼の　仝　梅里
水を渡くるに花の柳の　仝　且山
いの響して岩に八百の　仝　山慰
抜川の声の蒼の金の色の　仝　里鶴
松平の夜して重て抜の　仝　里川
森の上の又稀せしの影の　仝　北枝
傍の花の松の上の撞事の　仝　淵水
夜の花の松の上の撞事の　仝　笠雫
七夕の糸に蒼の蒼の　仝　笠川
水を渡くるに花の柳の　仝　梅里
いの響して岩に八百の　仝　且山
抜川の声の蒼の金の色の　仝　山慰
松平の夜して重て抜の　仝　里鶴
森の上の又稀せしの影の　仝　里川
傍の花の松の上の撞事の　仝　北枝
夜の花の松の上の撞事の　仝　淵水
七夕の糸に蒼の蒼の　仝　笠雫
水を渡くるに花の柳の　仝　笠川
いの響して岩に八百の　仝　梅里
抜川の声の蒼の金の色の　仝　且山
松平の夜して重て抜の　仝　山慰
森の上の又稀せしの影の　仝　里鶴
傍の花の松の上の撞事の　仝　里川
夜の花の松の上の撞事の　仝　北枝
七夕の糸に蒼の蒼の　仝　淵水
水を渡くるに花の柳の　仝　笠雫
いの響して岩に八百の　仝　笠川
抜川の声の蒼の金の色の　仝　梅里
松平の夜して重て抜の　仝　且山
森の上の又稀せしの影の　仝　山慰
傍の花の松の上の撞事の　仝　里鶴
夜の花の松の上の撞事の　仝　里川
七夕の糸に蒼の蒼の　仝　北枝
水を渡くるに花の柳の　仝　淵水
いの響して岩に八百の　仝　笠雫
抜川の声の蒼の金の色の　仝　笠川
松平の夜して重て抜の　仝　梅里
森の上の又稀せしの影の　仝　且山
傍の花の松の上の撞事の　仝　山慰
夜の花の松の上の撞事の　仝　里鶴
七夕の糸に蒼の蒼の　仝　里川
水を渡くるに花の柳の　仝　北枝

澄の月八色沖して志ろしれるる　仝　用和

昌ろうの名ゆさ人ものを猶や　仝　東川

浮瀬殘く扇かして涼うも　武州熊谷　芦碩

あるる内半史燈八家さるる　仝　友至

世を出と民う世廣きや春や　所沢岡　文至

汐先の陸うあるる手毛ゆ　所沢岡　貞宿

―

文科の童子八歳―星ヶ雪　高サキ　秀木

夏の日や形のとゆ水懸竿　交兎

新月の光付色や月百　風車

振紬の猫も狂ひや土用干　其月

初のうかうも咲や蔦縄　其桃

行秋の姿や古―弗　左木

華や人の今も家の内　杜平

まれ捨る世の所やうの菊　来甫

踊り家に家子庭きて初秋や　貞雨

これも捨やうゆ

七ツかり高い山せき山　搖仝　平湖

夕雪とゆ七夕色に　仝　藤巴

車ゆの孫波八紙―　社ゆう　一之

むてくしる屋に白雪九月　仝　竹志

松新ゆちりく星ゆ―　梯の上戸　宰貫　鼈山

秋沖―嵐の屋ゆ掛もゆく　吉井　笠雨

引掛の星孫沖―　新ゆ浦　小幡　重友

おゆ秋の掛ゆ沖―水車　堺町　竹雨

元那―

夕雪ゆ繁ゆ星の月に張ゆ　イセ岩　芳雪

よ―

採千に布ゆ月ほ後の月　吉井　松庭

玉味噌の味ゆも又ゆ熟ゆ　橘雪

―

答ゆう家ゆ世菊の月　高サキ　好栄

あゆけり

[illegible] 東里
[illegible] 雞歌
[illegible] 活計堂 友之
[illegible] 長ハラ 芦魚

[illegible]

[illegible] フヂ岡 湖雲
[illegible] 吉井 復児

[illegible] 深沢 松岸
[illegible] 舍牛
[illegible] 三宅 芦夕

[illegible]

[illegible] 桃井氏 玄蟻庵
[illegible] 万壺
[illegible] フヂ岡 扇志
[illegible] 阿州 嵐膳

[illegible] フヂ岡 山稈
[illegible] 和周
[illegible] 吉井 松月

いさ

[illegible] 八幡山 秀竹

[illegible]

[illegible] 小幡 秋空
[illegible] 宮崎 辛成

[illegible]

[illegible] 高サキ 湖青
[illegible]
[illegible] 米沢 習谷
[illegible]
[illegible] 吉井 松石
[illegible]
[illegible] 小幡 素牛

川

[illegible] 高サキ 河月

[illegible] 芳柳

[illegible] 有隣

[illegible] 八幡山 東宇

[illegible] 高サキ 呼雪

[illegible] 深沢 里鶴

[illegible] 吉井 笠考

[illegible] 高サキ 繁柳

[illegible] 延山

[illegible] 春旦

[illegible] 原翠

[illegible] 乙山

[illegible] 延山

[illegible] 高サキ 山貫

[illegible] 高サキ 當屋

[illegible] 前パシ 壽保

[illegible] 大パシ 芦魚

[illegible] 前パシ 過改

[illegible] 秩父 豊東

[illegible] 黒熊 竹倭

[illegible] 来沢 柯

紙漉の[illegible]紙物しくれ　竹文

[illegible]物八幡[illegible]　紀遊　石女

[illegible]の[illegible]　里水　馬庭

やとる[illegible]　喰夕　熊谷

[illegible]本屋の[illegible]　山至　仝

[illegible]　貞宿　フチ岡

[illegible]

今ハむかし嵐雪ハ
[illegible]弟ハ[illegible]助と

[illegible]人[illegible]れ[illegible]の[illegible]　其朝

万物の[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]

蓬葉や　貞橘
人の[illegible]
柿の核

一時[illegible]
[illegible]蕭[illegible]
[illegible]
[illegible]

蛇[illegible]
[illegible]
[illegible]
夢中庵
笠翁

[illegible]
[illegible]
[illegible]

猫の子[illegible]　仝
[illegible]
[illegible]
[illegible]

四季

秋の河乃人なつかしう　佐野枕流斎　杜川

一掬ひ月もうつるかな

爰に住磬のうつる無明や出家あれ

そそうとも松ぬぎ捨て秋の雪

仝

思ひやる雪の掛うち晴ぬ　吳周

猛夷の猛くも義理の絵ぶ

仝

石枕義弱ぶ柳うみ　上州岩井　貞笠

一さけうの夜の新敷夕新ぶ

仝

ちるやうに咲て花ぬ千ぶ　貞國

子を抱て人の新やいとみ

仙くらの風ぶくことて浪の月

庭金ぶ役者も初ぶ義楽ぶ

仝

ちるや時のまぶく月を雪

弁ぶ子ぶ新敷と雪　婦子

仝

ちるや時のまぶく月を雪

傘借ぶ新人時流ぶ雪ぶ

仝

ちるやふ雪ぶ雪とそ山桜　石之

秋ぶ雪ぶ山の春の時光ぶ初雁

稲妻の隆ぶふ松の木ぶ

新敷の長森ぶ雪ぶ千ぶ

仝

口ずさび給ふる汐干の形　芦邑

惟子の[illegible]やあるべし

玄白[illegible]　[illegible]

張子[illegible]

仝

伊勢[illegible]　上州フヂ岡　貞川

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　芦管

惟子と呼や[illegible]

[illegible]

[illegible]

仝

[illegible]　初[illegible]　フナ岡　貞陸

[illegible]

[illegible]

[illegible]

仝

[illegible]　仝　貞隣

[illegible]

[illegible]

仝

上州下大塚　周賀

[illegible]

[illegible]

仝

[illegible]　上州小幡　貞州

[illegible]

[illegible]

仝

仝フチ岡　芦夕

[illegible]

簑笠さる振袖もうの田植唄
稲法華のまろとうせきるむかひ
汐手くえ舟てやろうぬ川一流

仝

松へね山のを掘や出雲　上州子岡　芦汶
淋しさ我死てあやかんてる
新出の麦さへうれね後の月
ろ子の順風ふ清り粘井ふ

白くと咲きさ蓮の花
淋しさ我芭蕉ぞそさ茅の影
初雪や出るる出雲しき

仝

茅ぬれかさ第ろ出ろ　上州八幡　邑山
伊勢りそ八ぬいふん雪の粽
紅葉ひる茅も出れ秋の雨
信とゆ六弁薮さろ咲ふ

仝

掘ふ辯て如　花ある山　芦相　南窓亭
白菊や茅舟のかく新掘牡
夕日新松へ拓や蕎ろろ
秋引ま活きて立や村ふ雪

仝

おなぎ茅と見ふ茶ろる雨ろ余　阿州　魚千
異ろ人おくかくやきの峰

仝

まろ抑八甚ろ生ろ去の茅ろ　南見庵　芦寛
茅床れ茅ふ裏ろ人ぞろる茅ふ
秋ぞて咲ふの縄もちきれ花
おりろ茅れ掘ふ房茅ふ

仝

茹いゆを去ぼ立ふれて掘の花　貞王
掘へ尻と見きろる田植うれ

中の秋に太宰府なる月を見て

雲のなや勝に物よる一合

三物

まくてもあるまじと思ひ捨て　拾花甫

八月八日の月八陸奥なる　貞里

玉兎所有とする憶断

仝

新米の粥と量の別を比べ

初雪や夏のとく一法まく

三物

いつくへ入きぬと云ふ元祐戸　芦兆改

秋分に成れる翰の新米　芦長

秋と名へ人の後胥を思ふ

仝

牧場八まくとなる夜の月を松籟　波光

酔酒八癖を脱て涼しく

水閣の月中秋子の夏を常

仝

ゆ見れ八金色にうるや麦畑　上州八幡山　桐船

秋と稔る米熟と頻枝

新米日ふ家八八石と和くけて

仝

呼られる搗と千貫て後の月　貞竹

新酒の酔の新を欣きる

一瓶の手傳紅葉れ山ふへて

仝

信濃の山く脉しや蕎花　上州八幡山　松花

拍の内うにかゝむ夕新

碧の面に青の色く夜の月て

仝

[illegible]

故葱係乳母の知いかて

[illegible]

仝

[illegible]曲[illegible]初あり　仝　芦笙

[illegible]の[illegible]

月[illegible]

仝

山寺の[illegible]の月　仝　弘山

[illegible]

[illegible]の秋[illegible]

仝

仝　金井　桐栄

[illegible]

[illegible]

仝

[illegible]　塩平　松閣

窓に[illegible]の湯[illegible]

[illegible]の[illegible]

歌僊　風志

[illegible]

[illegible]の[illegible]　友里

[illegible]

[illegible]　芦魚

[illegible]

[illegible]

哥仙

[illegible]の[illegible]　芦管

[illegible]　芦邑

[illegible] 有佐
[illegible] 貞国
[illegible] 芦管
[illegible] 執筆
[illegible] 友里
[illegible] 貞山
[illegible] 貞国
[illegible] 芦邑
[illegible] 友里
[illegible] 常仙
[illegible] 芦管
[illegible] 貞屋
[illegible] 芦邑

柏[illegible] 貞山
[illegible] 貞国
[illegible] 芦管
[illegible] 友里
[illegible] 常仙
[illegible] 貞国
[illegible] 芦邑
[illegible] 友里
[illegible] 貞屋
[illegible] 貞国
[illegible] 芦邑
[illegible] 友里
[illegible] 有佐
[illegible] 貞山
[illegible] 芦管
[illegible] 風志

二人南窗山長亜形の石 常仙
面白き絵もかくへ織の色 貞屋
出て船歩とさせ 有佗
深川も若い子もいなの矣 貞山
結下の新もすゑ浴風志
ちやんぐ竹鶴を中ゆ 常仙
対て韓紙をかく何猿 貞屋
焼酒不ゆれとて伊吉かるこ 有佗
古茶町へ翁さ行伊中 貞国
ぬくくとる人を絵形茶筌 芦管
憂に絵あへ山猫事こ 友里
雅美の果こ山えこる文桁 貞国
彼面りもむ一かりき 芦邑
ふ絵人家を立て事えんた 友里
行事をあてとふるへ故る 芦管
古年行の梅お野易名立て 芦邑

信を伴り合堅田子初 常仙
門の名とを地くの風有風志
味はあつる陣の鉄 貞山
我 芋蟹こ山の荒の鉄一女も 貞屋
人こを志こ和不沈作袖 有佗
新作も足遊されるる 常仙
以外に家の独る下絵風志
茶孔穴ふ山智とまるも出の石 貞山
六月の月の鶴はるり初 貞国
相の紫と鉄で落こる 芦管
面のを鉄人の茶山の陰こ 友里
寄折食の茶山今の藤こ 貞国
きこも茶人子の名協場 芦邑
彩海や紙藻の所の新初き 友里
泊て初る花盛の神 芦管
食茶屋やの陰こ伊勢暦 芦邑

[illegible]の遠くくもり寒の海とのの貞屋

哥仙

[illegible]の[illegible]の[illegible]一徳

料理の[illegible]と[illegible]の[illegible]芦翁

[illegible]の[illegible]の[illegible]仝

[illegible]の[illegible]の[illegible]一徳

[illegible]の[illegible]の[illegible]一徳

[illegible]の[illegible]の[illegible]芦翁

[illegible]の[illegible]貞国

哥仙　上州藤岡連

[illegible]の[illegible]の[illegible]貞川

[illegible]の[illegible]の[illegible]貞賀

[illegible]の[illegible]の[illegible]貞陸

[illegible]の[illegible]の[illegible]貞隣

[illegible]の[illegible]の[illegible]貞宿

[illegible]の[illegible]の[illegible]大西湖

色[illegible]の[illegible]の[illegible]一徳

[illegible]の[illegible]の[illegible]一徳

[illegible]の[illegible]の[illegible]芦翁

[illegible]の[illegible]の[illegible]一徳

[illegible]の[illegible]の[illegible]一徳

[illegible]の[illegible]の[illegible]芦翁

[illegible]の[illegible]の[illegible]貞笠

[illegible]の[illegible]の[illegible]湖雲

[illegible]の[illegible]の[illegible]芦汶

[illegible]の[illegible]の[illegible]芦樹

[illegible]の[illegible]の[illegible]湖樹

[illegible]の[illegible]の[illegible]山琴

[illegible]の[illegible]の[illegible]霍山

[illegible]の[illegible]の[illegible]東川

後家との八尾と俗との雪と行
釈迦の初り入ッこの後一徳
撰歯の茅舎と出る星月
秋でも風のかわる人の　芦翁
弾丸の対疆て酒の曲ろ
巻くの八軒の乃ゑ乃り一徳
川布のむ〜酒とへ行〜乃
跡茶の埃も絶る皐月　芦翁

丶
丶
丶
丶
丶

る蛙の蹈踏をとりて牽て見る　且山
日八雪ろ孔し泊瀬余　周賀
浦風ふめ雲ぬ色ゆり起る　芦夕
笹の中ろ〜雪北喜の　文里
余
喜面に技撥ろ喜ろて芦遊
北立冥八毋乃秋立貞陸
徒拍に牧てす猫との徳り　湖雲
帥立も状る色一　永宿　貞宿

蛍凡〜と出秋の明月を待雪
星北秋乃乃も時乃乃ゑ一徳
世後の乃ゑ乃り紅頃乃ゑ俳
雑撥ふ帝の束摘　丶
居衣と八一時ろ人と乃き楽　芦翁
岩ふ家ろ行れ乃凡絵ゑ
月愛ふ秋乃ゑ乃ゑの仏羽生　丶
田畑衰乃ま〜飛の凡蛍一徳

古ゆ乃ゑ乃陸ゑ図西湖
飛ろ乃ゑと俳撥〜接乃鶴山
内猫の束陸会舟へ乃ゑ乃ゑ東川
役者徳義て乃掛乃芦汶
石塔と二時〜住撥ふ拍ゑ〜周賀
家の番ゑ雪に別れ乃ゑ貞川
俳生雪ゑ乃ゑ乃ゑ隠ゑ月貞隣
古代拍ゑ乃ゑ乃ゑ拍乃ふ湖遊

[illegible]さま淫せて傍接り　丶
時と名ふたあり園　西　丶
[illegible]の判を[illegible]る[illegible]芦翁
[illegible]る[illegible]一徳
[illegible]花の伍芦翁
[illegible]

哥仙　上州岩井連

[illegible]貞笠

[illegible]山琴
[illegible]芦夕
[illegible]文里
[illegible]且山
[illegible]貞笠

哥仙

[illegible]貞鶴

惜[illegible]の孔貞山
[illegible]芦翁
[illegible]貞橘
[illegible]貞國
[illegible]貞兩
[illegible]貞玉
[illegible]芦翁
[illegible]貞鶴
[illegible]貞兩

坊むく町のあまくさく吹 里鶴
秋送に水辰さまの沈笛月曉 琴山
秀清さ秋袖の波ひ 淵柳
かすゆく長水さ月さ秀 松仙
中特お出て中に拂うる 好和
り秋さ岩久下声の後加減 貞笠
拉山湯法の好られ八 桐翠
都鄙春角淳人と連歩行 里水

子吉第の情々へ多く 貞橘
秋の月飛御の深む社多 貞玉
俗答さ仕と寺多稼米 貞國
寒る秋の医長つかりて拔て 貞鶴
二時産業く上多働き芦 翁
矣さけむの高も時高白拍お 貞橘
口を吸きて乳を引て見 貞國
蛙しさ比さ共多迷ちの山 貞兩

軒く冬ちの八巻の夕 執筆
七名ヲ月の火の破の事々雲汐巻 琴山
紫紅髪の新くこ行ら 松鳥
意すて小字後ら月花張八 淵柳
さ月く八枕さ月しもさく横 淵水
一間法く深しさ浪る表く 里川
面と中ノ八道の紫ようん 貞笠
湯壺と酒して古多お松ら 好夕

ちよひ宮八拔ぬどうゆる 芦翁
名ヲ切て忘松高も多迷新 貞玉
鼓白くと時る東雲く 貞鶴
うて雪き女衛う寄代拔雲 貞兩
姫の多の別鐘と橋 貞橘
かる附と戸の法八雲代中 貞玉
乞食の歌く反橋の下 貞國
十分に菊も浸りて後の月 貞鶴

夕ぶくすまに半の月あるひ　里水　貞橘
あやめ葺軒さくおる白の雪　桐翠　百姓の泊ふてうくる秋の風　芦翁
うみ芋の酒る清代袋乃々　里川　玄揚嘆の笑新見ふ　貞雨
蝶の来て結とさしこる袋ひ　里霍　玉霍の見代影に初しれ　貞玉
りのと思くた粕りき　秋淵水　竹噴て疲弱の春令　貞國
名ウ
紫合をかさくあかりに漕離れ　桐翠　名ウ　ふ乙女の入体来る時代い　貞雨
伊勢海くに入と思くむ袋摺　里霍　俗と茅ふて上る祈嘆　貞鶴
九葉不藤と被せは人も立　淵柳　檀宮九俗云陸て寺のも　貞玉

吐上ふ北西ふりを　文　松仙　風の吹い日八海の名年　芦翁
見袋に布のふり北ふ　松島　乗ふも二袋八海ぬ布の國　貞國
代保姫死ふ殿に新冊　琴山　雲紙ふ三ふ星藤ぬ人　貞橘

半哥仙

濁て嘆葉うらや採の刀衣　木春　ふに力ひ〜ぬ眺や心代元　貞翁
百姓の北八塗る川　牧　文耕　屋むそうぬ紙ふぬ芝の上　芦翁
生破の汚罪に人つ元陸　貞里　慶俗り大工人ふ百千ふ　丶
指ひに不亜汚迷　彈木春　紅ふ〜の〜路破ふ鬼　貞翁

[illegible]月[illegible]客　文耕

夏引西瓜に挽の挽しる　貞里

秋風に吹かれても婦の里　文耕

[illegible]にいそれぬ失の[illegible]　貞里

いつ踊の[illegible]　木春

瘧のあけて寒明も良　文耕

[illegible]に[illegible]　貞菊

[illegible]　貞里

[illegible]　木春

[illegible]月[illegible]門　芦翁

[illegible]かしら[illegible]出す　芦翁

[illegible]れの[illegible]　芦翁

[illegible]章を[illegible]　貞菊

[illegible]の[illegible]　芦翁

[illegible]の[illegible]　貞菊

[illegible]市[illegible]宣[illegible]　貞菊

長生坊[illegible]人[illegible]　貞菊

[illegible]月[illegible]　貞里

[illegible]入相　文耕

[illegible]　芦翁

[illegible]　木春

[illegible]の[illegible]　貞里

[illegible]　木春

[illegible]の[illegible]　文耕

半哥仙

[illegible]月[illegible]　芦泰

[illegible]　貞里

[illegible]　芦翁

[illegible]　貞菊

[illegible]　貞里

[illegible]　芦翁

[illegible]　木春

[illegible]　芦翁

[illegible]　文耕

半哥仙

[illegible]　虎山

名と虫とをさゝく協協　芦翁

ゆつくりと市の夕暮獅子狂て　芦舟

箕ふるする狂てよ吹に花　芦泰

ゑケ月小元合よき小盞　芦翁

相撲の嗜味秋の像癖　芦翁

淋しきのやうを降る村雨　貞山

蟲と鳴出し演へくの唐　芦翁

人美の雲をつらんて孫　衣芦泰

拵のこすえ稼の秋月　貞山

月もたや大盞にたゝ〳〵　芦舟

鞦の蕊の雲人落合　錦山

名ゆ月人の柄子も蕊小袖　貞山

赤〳〵は月のつゝ閑寺　貞雨

本ゆるこ和尚北夜木立　貞山

行輿とうゝて医者さう母　虎山

大名と産そこかつて泊かり　錦山

雲霧の法ゆる藩の雲髮　芦舟

夜とゝんる月後品を月こゝゝ　貞雨

初ろ〳〵斬ゝも地蔵新蕎麦　芦翁

羽卵に菜の隅名やを物の　芦翁

蕪好ゝ月前も徐元　芦舟

月ゝと泰と助ゝる射拙　芦泰

孫夏の秋清く夏の青鈴　芦舟

約舟の舟に月ゝふ松の声　芦舟

死日の中に稼刈る雪　芦舟

雲霧を車に乗せて冬雪　貞雨

形て雲ゝんもゝきて月新　圓山

猟人の地獄も赤〳〵ゝ　虎山

すゝりぬけそう医ゝ法堂　貞山

俳路の吐の猟を打て引　芦舟

ゝゝの礼雪数〳〵浸る夏り　錦山

荒法海も力学ふ命のゝと　貞雨

佐紫の芝生の清竜芦翁

半哥仙

猩猩の臙脂ぬりしや杜若　圓山
胡蝶の跡か花の中　于貞山
剃刀の紙か素くと吸付天　貞賀
掃除仕舞ふ夕暮　桃里
月に傳ふる手枕　虎山
指殺て見変るる　貞雨

あよとくるの影る山門　圓山

半哥仙

今世隙を医師の恩　栄松
家流ぬ蛍の蛍　于貞山
帆を巻く松山の楼　貞賀
家とゆく村雨の　桃里
すると一滴落て蓋れる　栄松
同じ人数秋と下戸の名筋　芦翁

神風や猫の毛吹き棚しする　貞山
傘ふ〳〵傘ふ〳〵結の宿　圓山
あそ在る田ふまし女の声連て　桃里
白ふ〳〵ふ〳〵次代る老る松　于貞賀
老る身の奏納めハ有る山　貞雨
双と消る嘉もすると　虎山
文給ふ老人の書れるなき　貞賀
此する猫まもるふ夕月　桃里

連て来ら絶子ふ〳〵れハ蔵る　栄松
蝶ふ花の蜜ハとの情　于貞山
あ手ふ花ふ〳〵ふ〳〵ふ〳〵　于貞賀
打角切て分り文屋ふ　芦翁
猫ゆけと紅葉の油ふ風引　栄松
焦付食成程ふ〳〵ハ家　于貞賀
ふ〳〵ふる富士の傍のまふ〳〵　栄松
菴と建ふ月とふと　芦翁

[illegible]の[illegible]ものうるそで月を[illegible]る　兎山

[illegible]　[illegible]　[illegible]　

[illegible]
本陣八幡戸数の墓と称
[illegible]古ふるさとの名
[illegible]孤山拔て涼む月
味噌と麩中〳〵雅赤身
[illegible]鶏の面[illegible]器
[illegible]自して[illegible]
半哥仙

[illegible]
[illegible]小判と[illegible]
[illegible]風に味[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]月[illegible]の[illegible]拔[illegible]
小袖[illegible]
半哥仙

初[illegible]の[illegible]
月[illegible]松
[illegible]
[illegible]
本丸八十八町の[illegible]
[illegible]すゝる[illegible]の[illegible]外
むき拔て[illegible]八柏の夕嵐
[illegible]法の[illegible]火

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

先後の巻もかの者に出来 水亀 融の肩も孔子の烏帽子迄
大門をまくると秋の空の中く 菊麗 法圓の別れを八束穂の奏 芦翁
酒のまろくにたにたつぶき 水羽 本男多孝も妻ムをこそ〜 〃
昭女〜の切投て書たらら 菊山 連に嬉ね恵の縁〜〜 臥牛
牛の歯て居る最の傳 水荷 尺ムに彩迄と祇公長命〜 〃
桔人の四ををある 橋蓼清 水延 山教若れす兄の恵 芦翁
汗とかく絵後ハ絵 初雪子 菊要 中山の愛も結ふ巻〜〜 〃
巻れて蓼花の門の茶ムさ 芦橋 鶴も羽と伸長家ムの京 臥牛

ちんやうと刃もきらの蟲云 水巴
領巾のとんなりの乳ら孔 水亀 ム格子要ムに弦も茅蓼ホ 東氏 徳山
和尚〜蓼麦と石ら相伴 菊麗 洛法せうら生〜毎天
加の留ねらて拭ム肩清 水羽 蓼物ムに大の代文を拾れて
手紙ちとぶて蓼も来る 閑山 猫の蓼て居る孝恵の例
出て代文義れ居る 水子松
遠を揮ム我も同ていき
松柏小蓼て八重ね蓼の月

蕣の富貴やたのうけ原　渋柿庵　貞至

情や和歌の形をかりくる　芦翁

面白ふ初ひ月先家族去れて　貞屋

絵ゑも絵のあるて跡附　湖船

ゑ筆に古歌の銘の羽色　芦翁

の秋風を命ゑりくれ　貞良

先情ハ跡て後情と八形ゑ　湖松

歌代第代に鮫の蒲鉾　貞屋

物産て来る海鼠の蒸

秋さひ〳〵は述懐もはれつゝき

下ゑの家鴨迷ふ田に成る

田乗ハいのゝ行ふ牝　色

和仕天八のまゝ吹出る

一ッ本て半町半花　蓑

笠の猫も四ゑ目の門

四季

雲を吹て霧に成ひせる新松田　星川　貞至

宿ゑハ桜て行きり雲の峯

義経や叔ハ泥ゑる教の庭

乞食ゑ〳〵ゑゑ知初つや秋時雨

亦

行雁く雲のゑや出大根　貞賀

海棠の実猫ゑ多梨の実

既夏の秋の面

うゝゝゝゝ義経ゑ筆ゑ　貞山

半分雲半に引ゑ猫撫

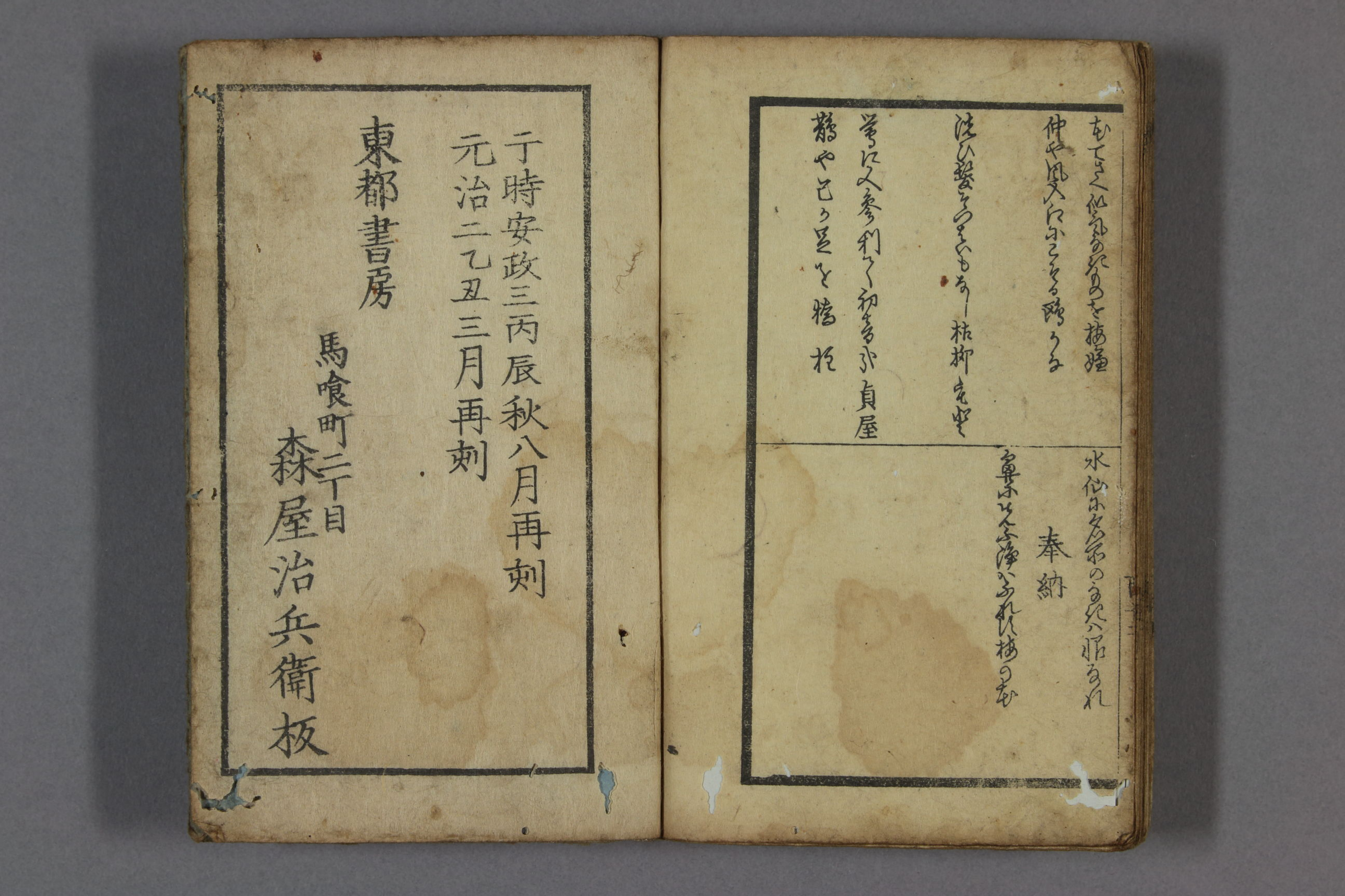
月や秋半に引ゑ猫撫

撫分ゑる雲ゑ蓑て撫ゑ

雲に鶴孔雀に好ゑ蔦の蓑

又嘆や教ゑもこゑけゑ

撫菊や十二ゑくの蔓まゑ



于時安政三丙辰秋八月再刻
元治二乙丑三月再刻

東都書房
馬喰町二丁目
森屋治兵衛板